

卒業生の メッセージ

創立 30 周年を迎えて、過去の研修生からメッセージをいただきました。
ここにご紹介させていただきます。



ザイド アルザフラニ氏
サウジアラビア石油鉱物資源省次官
H.E.Eng. Zeyad H. Al Zahrani
Undersecretary
Saudi Ministry of Petroleum and Mineral Resources
1988 年マーケティングマネジメントコース参加

2011 年 11 月 15 日、サウジアラビア石油・鉱物資源省の私のオフィスを、JCCP の方々が訪ねてくださいました。JCCP の皆さんは、創立 30 周年の記念に、私が石油鉱物資源省で仕事をしていることを探し当て、訪ねてくれたのです。1988 年 7 月、私が JCCP マーケティングマネジメントコース (TR-7-88) に参加を申し込んだときの応募書類も持ってきていただきました。23 年ぶりに私の若いときの写真を見せていただき、当時の記憶がなつかしく甦ってきました。

JCCP の皆さんが訪ねてきていただいたおかげで、この短いメッセージを JCCP ニュースに寄稿させていただけることにもなりました。大変喜ばしく思っています。

1988 年のマーケティングマネジメントコースは、私にとって思い出に残る研修でした。その後、JCCP で、ぜひもう一度勉強してみたいと思い、環境管理コースにも参加しました。この二つのコースに参加したことで、私は技術とマネジメントの両方の知識を学ぶことができました。日本人の専門家の方々から、講義やアドバイスを受けて、たくさんの知識を得ることができましたし、それはその後、私が石油鉱物資源省で仕事をしていく上で、大変プラスになりました。

JCCP の研修に参加した時のことは、今もまだ、生き生きと思い出すことができます。日本人はみなフレンドリーで礼儀正しく、教養豊かでした。東京は、大変良い都市で素晴らしいと思いましたが、ただ非常に物価が高いことには驚きました。私達は古都京都を訪れる機会を得て、日本が長い歴史を経て発展してきたことも学びました。

今振り返ってみると、当時 JCCP で勉強した日本の姿は、私たちが将来のサウジアラビアのビジョンを描くときに、必ず思い浮かべるモデルになっていたことに気づかされます。また、日本や同じコースに参加した仲間の人たちの国と、友好関係を深めていくことがとても大切であることにも気づくことができました。JCCP のコースは、参加者同士がお互いの文化を理解し、視野を広げていくことができるようデザインされていたと思います。

創立 30 周年の記念で、JCCP の皆さんと再び会うことができたので、改めて JCCP を訪れ、JCCP の皆さんにサウジアラビアの石油産業の将来の姿をお話しし、今後 JCCP にお願いしたい新しい研修プログラムについても意見を交わしてみたいと思っています。JCCP がこれまで同様、サウジアラビア王国のこれからの発展に、協力していただけることを期待しています。

ザイド アルザフラニ次官は、ロンドンにおいて、昨年の 12 月 18 日にご逝去なさいました。石油大臣の代理として出席していたロンドン会議の期間中のことで、このメッセージをお送りいただきました 2 週間後のことです。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。